年度 道徳教育の全体計画（例） 　　　　　　　 　 　　　 　中学校

|  |
| --- |
| 学校の教育目標 |
| ・主体的に考え，行動する生徒・思いやりのある生徒・心身ともにたくましい生徒（目標を達成するための学校経営方針，経営計画等） |

日本国憲法

教育基本法

学校教育法

学習指導要領

地区の教育委員会の教育目標・教育施策

現代社会の要請や課題

生徒の実態や発達段階等

保護者・地域社会の願い

教職員の願い

|  |
| --- |
| 道徳教育の重点目標 |
| ・思いやりの心をもち，自他の生命を尊重する態度を育てる。・集団におけるよりよい人間関係を築き，いじめや差別のない社会の形成に主体的に参画しようとする意欲を育てる。・自立心や自律性を高め，よりよく生きようとする心を育てる。 |

|  |
| --- |
| 研修計画 |
| ・道徳教育推進教師を中心に，全教師が研修を進める。・生徒の実態把握，重点目標の共通理解を図り実践し，検証の場とする。・指導方法の改善のため授業研究を行う。・取組の成果と課題の整理，次年度に向けて重点目標の見直しを行う。 |

|  |
| --- |
| 評価計画 |
| ・道徳教育における評価では，年間にわたって生徒一人一人の人間的な成長を見守り，よりよい生き方を求めていく努力を評価し勇気づけ，常に指導に生かす。・道徳科における評価では，学期ごとに生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り，個々の生徒の成長を促すとともに，授業者の指導を評価し授業改善に努める。 |

|  |
| --- |
| 道徳教育の推進体制 |
| ・校長の方針のもと，道徳教育推進教師を中心に指導体制をととのえ，全教師が協力して計画的に取り組む。・校内研修や公開講座を充実させ，教師間や，家庭・地域との連携を図る。 |

|  |
| --- |
| 各教科における道徳教育の指導計画 |
| 国 語 | ・正確に理解したり適切に表現したりする資質・能力を育成するうえで，社会生活における人との関わりのなかでの伝え合う力を高める。 |
| 社 会 | ・グローバル化する国際社会に主体的に生きる，平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を養う。 |
| 数 学 | ・数学的な活動の楽しさやよさを実感して粘り強く考え，生活や学習に生かそうとする態度を養う。 |
| 理 科 | ・自然と人間との関わりを認識させ，生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |
| 音 楽 | ・音楽を愛好する心情や感性を育て，美しいものや崇高なものを尊重する態度を養う。 |
| 美 術 | ・感性を豊かにし，心豊かな生活を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。 |
| 保健・体育 | ・様々な運動の経験を通して，粘り強くやり遂げ，ルールを守って集団に参加し協力する態度を養う。 |
| 技術・家庭 | ・生活を工夫し創造する資質・能力を身に付け，勤労の尊さや意義を理解し，家庭や地域社会の一員としての自覚をもって，生活や社会をよりよくしようとする態度を育てる。 |
| 外 国 語 | ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |

|  |
| --- |
| 特別活動における道徳教育の指導計画 |
| 学級活動 | ・学級の諸課題を見いだし，自主的に取り上げ，協力して課題解決していく自発的，自治的な活動によって，よりよい人間関係の形成や生活づくりに参画する態度を養う。・自らの生活を振り返り，目標を定め粘り強く取り組もうとする態度を育てる。 |
| 生徒会活動 | ・学校生活の向上のために，全校生徒のことを考え，互いの創意を生かして課題解決に取り組む活動を通して，異年齢によるよりよい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度を育てる。 |
| 学校行事 | ・社会体験や自然体験，幼児児童，高齢者や障がいのある人々などとの触れ合いや文化や芸術に親しむ体験を通して，よりよい人間関係の形成，自律的態度，心身の健康，協力，責任，公徳心，勤労，社会奉仕などにかかわる道徳性を育てる。 |

|  |
| --- |
| 各学年の重点目標 |
| 第１学年 | 第２学年 | 第３学年 |
| ・生命の連続性や有限性を理解し，自他の生命を尊重する態度を育てる。・温かい人間愛の精神を深め，他の人々に対する思いやりと感謝の心を育てる。・基本的な生活習慣を身に付け，規律ある生活の定着を図る。 | ・あらゆる生命の尊さについての理解を深め，互いに支え合って生きていこうとする心を育てる。・誰に対しても公正・公平に接し，よりよい集団をつくっていこうとする態度を培う。・友情の尊さを理解し協力し合う心を育てる。 | ・生命に対する畏敬の念をもち，人間として気高く生きようとする態度を育てる。・人権尊重の精神を培い，世界の平和と人類の発展に貢献しようとする意欲を育てる。・将来の生き方を考え，より高い目標に向けて努力しようとする態度を育てる。 |

|  |
| --- |
| 道徳科の指導の方針 |
| ・自己を見つめ，物事を広い視野から多面的・多角的に考え，人間としての生き方についての考えを深める学習を行う。・生徒の実態を踏まえ，各教科や体験活動，いじめ防止のための対策に関する方針や情報教育と関連づけた効果的な指導を行う。・問題解決的な学習や体験的な学習など多様な指導方法を取り入れる。・教師が交代で学年の全学級を回り道徳の授業を行うなど工夫し，指導と評価の一体化をはかる。 |

|  |
| --- |
| 特色ある教育活動や豊かな体験活動における道徳教育の指導の方針 |
| ・全ての教育活動において道徳的実践を促すほか，職場体験活動，地域の行事への参加など，豊かな体験の場を充実させ計画的に設定する。・勤労観・職業観や，地域の一員としての社会参画の意欲を高める。 |

|  |
| --- |
| 生徒との信頼関係を育む教師のあり方や教師間の連携方法・教育環境の整備 |
| ・生徒相互，教師と生徒の豊かな言語環境を整える。・教職員の協働意識を高め，チーム実践を心がける。・校内設備のユニバーサルデザイン化を行う。・校庭・校舎内の美化に努め，季節感のある自然環境づくりをする。 |

|  |
| --- |
| 生徒指導における道徳教育の指導計画 |
| ・教師と生徒，生徒相互の心の交流を図り，生徒一人一人が意欲をもって将来を展望できるよう援助する。・いじめの防止や安全の確保に資するよう留意する。・よりよい学校生活となるよう，生徒に対しては学年，学校全体で組織的に取り組む。 |

|  |
| --- |
| 総合的な学習の時間における道徳教育の指導計画 |
| ・自然体験やボランティア活動等の社会体験を探究的な見方・考え方をはたらかせて行い，自己の生き方についての考えを深める。・探究課題の解決を通して，主体的に判断し，粘り強く考え，他者と協調して生活しようとするなどの資質・能力を育てる。 |

|  |
| --- |
| 家庭，地域社会，関係機関，他校種との連携の方針 |
| ・ゲストティーチャーを招いての公開授業を行う。・他校種との合同の研修会を行い，連携や交流を深める。・道徳教育にかかわる情報の発信を行う。・教師と保護者との信頼関係を高める。 |

　　　　　　　　　　　年度 道徳教育の全体計画（例） 　　　　　　　 　 　　　 　中学校

|  |
| --- |
| 学校の教育目標 |
|  |

日本国憲法

教育基本法

学校教育法

学習指導要領

地区の教育委員会の教育目標・教育施策

現代社会の要請や課題

生徒の実態や発達段階等

保護者・地域社会の願い

教職員の願い

|  |
| --- |
| 道徳教育の重点目標 |
|  |

|  |
| --- |
| 研修計画 |
|  |

|  |
| --- |
| 評価計画 |
|  |

|  |
| --- |
| 道徳教育の推進体制 |
|  |

|  |
| --- |
| 各教科における道徳教育の指導計画 |
| 国 語 |  |
| 社 会 |  |
| 数 学 |  |
| 理 科 |  |
| 音 楽 |  |
| 美 術 |  |
| 保健・体育 |  |
| 技術・家庭 |  |
| 外 国 語 |  |

|  |
| --- |
| 特別活動における道徳教育の指導計画 |
| 学級活動 |  |
| 生徒会活動 |  |
| 学校行事 |  |

|  |
| --- |
| 各学年の重点目標 |
| 第１学年 | 第２学年 | 第３学年 |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 道徳科の指導の方針 |
|  |

|  |
| --- |
| 特色ある教育活動や豊かな体験活動における道徳教育の指導の方針 |
|  |

|  |
| --- |
| 生徒との信頼関係を育む教師のあり方や教師間の連携方法・教育環境の整備 |
|  |

|  |
| --- |
| 生徒指導における道徳教育の指導計画 |
|  |

|  |
| --- |
| 総合的な学習の時間における道徳教育の指導計画 |
|  |

|  |
| --- |
| 家庭，地域社会，関係機関，他校種との連携の方針 |
|  |